学校番号	309

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　新倫理　最新版」　（清水書院）						
副教材等	「アプローチ倫理史料ＰＬＵＳ2022」　（とうほう）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古今東西の思想史的知識の習得のみにならないように，自立して思索を行うとともに，他者とともに生きる主体を育むことができるように，講義形式に加えて，発表やグループ討議等も適宜取り入れて，学習の深化を図る。

２　学習の到達目標

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて，青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めるとともに，人格の形成に努める実践的意欲を高め，他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人間尊重の精神と自己形成について関心を高め，人格の形成と生きる主体としての自己の確立に努める実践的意欲をもつとともに，これらにかかわる諸課題を探究する態度を身に付け，人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	生きる主体としての自己の確立について広く課題を見いだし，人間の存在や価値などについて多面的･多角的に考察し探究するとともに，良識ある公民として広い視野に立って主体的かつ公正に判断できる。	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などに関する諸資料を収集し，これらを自己形成に資するよう活用するとともに，追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現できる。	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などにかかわる基本的な事柄を，生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し，人格の形成に生かす知識として身に付ける。
評価方法	ノート 発表 授業態度	レポート プレゼン 定期テスト	レポート 定期テスト	小テスト 定期テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	現代に生きる	・人間とは何か ・青年期の課題と自己実現		○			a:理解しようと努めているか b:考察し、公正に判断できるか c:考察過程・結果を表現できる d:理解し身に付けているか	ノート プレゼン 定期テスト レポートなど
1	人間としての	・人生における哲学 ・人生における宗教 ・人生の知恵 ・人生における芸術	○				a:理解しようと努めているか b:考察し、公正に判断できるか c:考察過程・結果を表現できる d:理解し身に付けているか	ノート プレゼン 定期テスト レポートなど
2	現代社会と	・現代の倫理的課題 ・現代に生きる人間の倫理			○		a:理解しようと努めているか b:考察し、公正に判断できるか c:考察過程・結果を表現できる d:理解し身に付けているか	ノート プレゼン 定期テスト レポートなど
2	国際社会に	・日本の風土と外来思想の受容 ・現代の日本と日本人としての自覚				○	a:理解しようと努めているか b:考察し、公正に判断できるか c:考察過程・結果を表現できる d:理解し身に付けているか	ノート プレゼン 定期テスト レポートなど
3	現代の諸課題と倫理	・生命と倫理 ・環境と倫理 ・現代の家族とその課題 ・地域社会の変容と共生 ・情報社会とその課題 ・グローバル化の時代と倫理 ・人類の福祉と国際平和			○		a:理解しようと努めているか b:考察し、公正に判断できるか c:考察過程・結果を表現できる d:理解し身に付けているか	ノート プレゼン 定期テスト レポートなど

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。